

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

平成30年度

新潟市公民館事業の基本方針

平成30年度の新潟市公民館事業の基本方針と重点事業が決まりましたので、概要をお知らせします。

【基本方針】

- (1) 学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化
市民と地域が、学びを通じてつながりを深め、地域課題や社会的課題に取り組む人材を育成し、地域に絆をつくり、「コミュニティ」の形成と活性化に努めます。
- (2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上
学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。
- (3) 市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実
子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

【重点事業】

- 基本方針に従い、重点的に次の事業分野に取り組みます。
- (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援
 - (2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりの推進
 - (3) 家庭における教育力向上の支援
 - (4) 青少年の生きる力を育む機会の充実
 - (5) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
- 現代的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供



小須戸地区公民館

それぞれの項目に対する小須戸地区公民館の具体的な事業名と事業目的などは、4月号でお知らせする予定です。



フラワーアレンジメント教室
(5～7月開催)



デイキャンプ(8月開催)



高齢者生きがい講座(10月開催)

消防訓練実施、日常の防火点検

公共施設などでは、定期的な消防訓練が義務付けられています。2月15日、小須戸まちづくりセンターで出張所、包括支援センター、公民館合同で今年度2回目の消防訓練を実施しました。

米田防火管理者から、日常の火災予防の注意事項について説明を受け、消防設備(消火器、消火栓、消火扉、避難器具等)の設置場所の確認、点検と操作方法などの研修を行いました。

また、避難経路にもとづき、各階の利用者等の模擬避難誘導訓練を行い、万が一の場合は、適切な対処ができるように備えています。



新ショートスティ棟オープン ～こすど蒼丘の里～



3月1日から、「特別養護老人ホームこすど蒼丘の里」の新ショートスティ棟が増床オープンしました。

2月23日の内覧会では、20床全個室、ユニットケアで最新鋭の低床電動ベッドなどが披露され、利用者も家族もリフレッシュしてもらうことを目的としているとの説明がありました。

これからも、地域に密着した施設として、介護サービスの充実を期待します。

問合せ：こすど蒼丘の里 ☎0250-61-0333



1月下旬から、まちづくりセンター1階ロビーにおいて、小須戸コミ協主催のイベント「在郷町小須戸ひな・町屋めぐり」を彩るか

「絢爛豪華」手づくり雛人形と吊るし飾り 小須戸まちづくりセンター

のように、手づくりの「絢爛豪華(けんらんこうか)七段飾り」の雛人形が、地域の方のご好意で飾られています。

この雛人形は、作者の方の「自分が人形を作っているところを3歳の娘から見てもらいたい」という、子育て当時の熱い思いの中で、二年かけて制作した木目込み人形で、職人顔負けの秀作です。



また、2月4日にイベントの一環で行われた「折り紙で作るひな飾りワークショップ」で制作された受講者の吊るし飾りも、雛人形

とともに3月末までロビーに飾られています。どうぞ、一度ご覧になってください。

すよこしと一言

「ありがとう」 との出会い

去年卒寿を迎えました。社会に出てから私が驚いた言葉の一つを書いてみます。「困ったときでも「有難うございます」と受け止めることが大事」という言葉です。人生いいことばかりと



ペンネーム
かたつむりさん

は限りません。病気になる・仕事で困った問題が起きる等々。するとアツ暴飲暴食した?と思つて生活を改善すると健

康に戻るし、仕事や人間関係がうまくいかないときは「相手のことをあまり考えていなかったな?」と反省しなければなりません。すると「気づかせていただき有難うございます」「教えていただきありがとうございます」と思ふことができます。「困ったこと」は、きつと自分自身に「何かを教えてくれている」のですね。

- ◇ 5月連休の5月3日(木)、4日(金)の祝日
- ◇ お盆の8月13日(月)、14日(火)、15日(水)
- ◇ 日曜日で、夜間帯の貸館利用のない日は18時閉館(1か月前までに利用予約がない場合に実施)

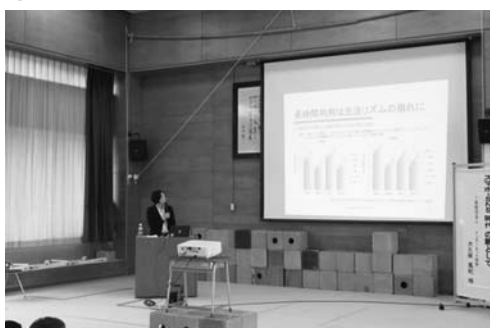
◆ 通常の休館日は「第2・4木曜日」「12/29～1/3」です

平成30年度の 臨時休館日のお知らせ

センターでは、平成30年度の臨時休館日を次のように予定しておりますので、お知らせ致します。

小須戸まちづくりセンターから

「家庭教育講演会」開催 スマホ・SNSについて学ぶ



1月19日(金)小須戸小学校で「家庭教育講演会」を開催しました。昨年6月に矢代田小学校で開催された矢代田小親ゼミに続く第2弾で「スマホ・SNS時代の親として」という演題で行いました。スマホ・ネットが爆発的に普及したことによる様々な問題点(ネット依存や犯罪、トラブル、いじめなど)について学び、また今後も加速していくであろうス

小須戸中学校吹奏学部 スプリングコンサート spring concert

地域の皆様に、一足先に「春」と、「元気」をお届けします。毎年楽しみにしてくださっている方も増えてきて、とても喜んでいきます。「楽器の音で伝えあうこと、聴いている人に気持ちを届けること」を目指して、30名で頑張っています。

多くの方々に
ご来場いただければ幸いです♪
☆日 時：3月24日(土)
午後1時30分 開場
午後2時 開演
☆会 場：小須戸中学校 体育館
(中学校体育館の玄関からお入りください) ※入場無料
☆演奏曲：絵のない絵本、コヴィントン広場、2017年J-POPベストヒッツスペシャルメドレー ほか

マホ・SNSを上手く利用していく方法について講師の大久保真紀さんより教えていただきました。子どもがYouTubeやゲーム攻略動画をすぐく見ているという話もあり、子ども達にとっても身近な物なので大人の正しい理解と対応が大事だと改めて気づかされました。学びの多いとても有意義な時間となりました。



今年度で32回目となる新津南高等学校開放講座が無事修了しました。8月から11月の土曜日の午前、5回に分けて学生時代の気分を味わいながら高校の教室で、17名の受講生が色々なテーマを現職の先生から直接学びました。8月26日の第1回目は美術の先生からろうけつ染の手ほどきをうけ、続く9月16日の第2回目で宿題の画用紙に描いてきた下絵をもとに「マイ手拭い」が完成しました。受講生の作品は10月に開催された市民展に展示され、個性あ

ふれる手拭いに多くの来場者が感心していました。10月21日の第3回目は「いま、統計を読み解く」と題して、数学の先生からパソコンを活用して統計について学びました。11月18日の第4回目は「缶詰のみかんを作ろう」で化学の先生から缶詰のみかんができる仕組みと実際に重曹など3種類の液体を使って缶詰のみかんを作りました。因みに一番美味しかったのはそのままのみかん、二番目は塩酸と水酸化ナトリウムの水

溶液で溶かしたのみかんでした。11月25日の第5回目は書道の先生から時絵を体験させていただきました。自分の好きな文字や模様を描いた時絵は世界でただ一つの自分の宝物になりました。このように、歴史のある新津南高等学校開放講座ですが、毎年テーマを変え、その時代を反映した講座を開催しています。来年度も開催の案内がありましたら、もう一度学生に戻って学びの世界に飛び込んでみてください。新津南高校の皆様、受講生の皆様ありがとうございました。

いくつになっても学ぶことは楽しい！
新津南高等学校開放講座修了

小須戸地区図書室新刊案内

- 【一般書】
- ・それ、時代ものにはNGです (若桜木虔)
 - ・チームの生産性をあげる。(沢渡あまね)
 - ・図解いちばんやさしく丁寧に書いた青色申告の本 '18年版 (千代田パートナーズ税理士法人/監)
 - ・今日すべきことを精一杯！ (日野原重明)
 - ・誰でも作れておいしいやわらか介護食 (寺島治)
- 【児童書】
- ・びっくりまつぼっくり (多田多恵子)
 - ・もったいないばあさんのいただきます (真珠まりこ)
 - ・おちゃかいのおやくそく (エイミー・ダイクマン)
 - ・カランポーのオオカミ王 (ウィリアム・グリル)
 - ・ひょうたんめん (神沢利子)

題材は自由(お一人一句または一首。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、3月23日(金)までに小須戸地区公民館へ。

俳句・川柳・短歌募集

短歌

雛飾り晴れ着着せたらすまし顔
ちひさき頃の娘を想ふ
鬼は外鬼面つけし祖父めがけ
子鬼の曾孫ら朧々とし豆投ぐ
あどけない笑顔を見せて一才は
遊び楽しい可愛ひ孫
餌探し足跡残しキジ歩き
雪かき控えそつと見守り

川柳

テレビ見りや毎日グルメ食べ歩き
一日のリズムが動く朝ドラマ
チャンネルを孫と取り合い思い出す
老い暮らしテレビで満たす味と旅
岩一つ 二百海里の広さ持ち

俳句

歳旦の満月とゆく宮参り
札納む燃えて氏子はあかあかと
再会の約束印す初暦
忌を修すその日と同じ雪降り
兄いもと父母の笑顔やさくら餅
佛にと一期一会の冬苺
八十の手習ひ楽し外は雪
雪しづか外灯照らす村の辻
静けさを積み上げてゆく夜の雪
凍てつきし月に寄り添ふ星ひとつ
目覚めれば小鳥群れなす今朝の雪
落し蓋ことごとことと冬厨

風間 幸子
熊倉 ひろむ
吉澤 文子
間野 えり
馬場 綾子
佐久間 久子
本多 玲子
中野 太浪
丸山 紀子
上田 スミイ
吉田 松子
渡辺 信子
保科 志枝
能登 としお
増井 都留
会田 修
風間 源一郎

玲 泉
高橋 キヨ
吉田 まつえ
こ み け

文芸欄

新入学児童へ防犯ブザー贈呈

小須戸コミ協は秋葉警察署防犯協会の協力を得て、毎年小須戸小学校へ入学する新一年生へ防犯ブザーを贈呈する活動を続けています。これは地域全体で子供たちを見守り、子供たちの登下校の安全を確保するための取り組みです。

またコミ協の防犯部会は「こすどっ子見守り隊」というボランティアさんたちと一緒に、普段の生活の中で児童の登下校の見守りを行う活動を行っています。4月は新入学児童の下校ボランティアとして一年生と一緒に下校します。見守る目が多いほど、犯罪は起きにくくなります。地域の皆さまも犬の散歩や農作業などをしながら子供たちの安全を見守っていただきたいと思います。



新入学児童に贈呈される防犯ブザー



「こすどっ子見守り隊」による1年生下校ボランティア

「地域の通学路は地域で守る!!」地域で活躍中の除雪隊をご紹介します

近年まれにみる大雪に見舞われ、歩道どころか道路の除雪までもままならない状況の中、鎌倉、天ヶ沢、舟戸自治会の有志(除雪隊)による歩道除雪作業によって、通学路の除雪が確保されました。

数年前から始まった除雪隊は、早朝6時から準備が始まります。児童が登校する時間には、矢代田小学校へ向かう一本の道の道が出来上がり、安心安全に通学することができ、校長先生から感謝のお言葉をいただきました。

また、舟戸自治会は線路脇の歩道も除雪することで、矢代田駅を利用する高校生や地域住民にも大変喜んでいただいています。

今年度は15回以上の出動で随分お疲れの様子でしたが、除雪隊のみなさんの愛ある活動に脱帽！感謝でいっぱいです。



鎌倉地域 天ヶ沢地域 舟戸地域

小須戸コミュニケーション協議会

山の手コミュニケーション協議会